



HOKKAIDO UNIVERSITY

# AMBITIOUS LEADER'S PROGRAM

Fostering Future Leaders to Open New Frontiers in Materials Science

Ambitious 物質科学セミナー

## 強相関電子系一次元鎖 Pd(III)錯体の創成と相転移：野茂とイチローはどちらがえらいか？

山下 正 廣

東北大学大学院理学研究科・教授



平成 27 年 1 月 16 日(金)16:00~17:30

北海道大学 理学部 6号館 204-2室

擬一次元ハロゲン架橋白金、パラジウム、およびニッケル錯体は、高次の共鳴ラマンスペクトルや、大きなストークスシフトを持つ発光や、三次非線形光学効果や、ソリトンやポーラロンにもとづく興味ある物性などを示すことから大変興味を集めている物質群である。これまで、白金やパラジウム錯体では電子・格子相互作用が強いために電荷密度波状態（混合原子価状態）しか取り得なかった。そこで我々は、化学的圧力効果や配位子場制御により世界で初めて強相関電子系のパラジウム(III)モット絶縁体の合成に成功した。この新規化合物の物性と相転移機構について紹介する。最後に、科学的に野茂とイチローはどちらが偉いかを紹介して、科学のあるべき姿について講演する。

連絡先：北海道大学大学院理学研究院化学部門 加藤昌子

(Tel: 011-706-3817, Mail: mkato@sci.hokudai.ac.jp)